

越谷サンシティ整備懇談会報告書(案)に対する委員意見一覧

	提出者	提出日	内容
1	田中秀明 委員	2021.1.21	今後、具体的な整備計画の作成、公募・契約などの実施などを予定していますが、その際、入札や契約の方法などのあり方として、民間の創意工夫を促すような方法を検討する趣旨を加えてはどうかと思います。
2	大櫛寛之 委員	2021.1.22	<P111その他の意見 に関して> 洪水、地震等の災害時に本施設がどのように使われるのか考慮した上で必要な機能を備えておくことが重要ではないか。(特に、洪水に関しては浸水想定区域に含まれることから、浸水対策も十分に行う必要があるのではないか。)
3	小菅里美 委員	2021.1.22	「来年度以降も、市民との対話の窓口を開きながら、より良い施設の整備・にぎわいづくりに向けた検討を期待。」について 具体的に、どの年度、時期に、検討会などの委員会組織するなど、どのように市民に対し窓口を開くことを検討し、どのように実行するのかを盛り込んでいただければと思います。 「今後の検討に当たっての留意点」について 具体的に、誰が、いつ、どのように検討し、市民に対し理解を求め、解決して行くのか、ということが、今後建設までの期間に重要なことかと思いました。 「実施方針や民間事業者の公募に向けた準備」の中で行われるのかと思いますが、その後、令和5年以降、実施設計を進める上で、事業者・設計者・市民利用者との連携が図れるような仕組み作りが行えるとよいのかと思います。 「カスタマイズとよた！」の例では、市民プラットフォーム、専門家アドバイザーチーム、推進会議、のような組織を連携させ、具体的に社会実験をするなどして、民意を具現化し、計画への市民参加を増やし、合意を得る努力をしたように見受けられます。 今後このような計画を越谷市が進めるお考えがあれば、市民プラットフォームについて、越谷サンシティ未来会議から派生し連携していくことは、検討できるのではないかと考えています。